

JForest

栗駒高原森林組合だより

やまびこ

第 32 号

平成29年12月1日

発行・編集

栗駒高原森林組合

栗駒桜田街道西11の96

TEL (0228) 45-3311

FAX (0228) 45-3312

<http://kurishin.ec-net.jp>



リアスの森 バイオマスパワープラント

(木質チップを燃料とし、ガス化炉で発生させたガスで発電を行う)

目

- ◇「働き方改革」への取組…………… 2
- ◇全国森林組合代表者大会…………… 2
- ◇産業功労賞受賞…………… 3
- ◇活性化協議会視察研修…………… 3
- ◇職員連盟全国研究集会…………… 4

次

- ◇第30回優良みやぎ材展示即売会…………… 4
- ◇樹木の豆知識シリーズ⑳…………… 5
- ◇木材市況〔10月〕…………… 5
- ◇くりはら苔栽培講習会…………… 6
- ◇係より…………… 6

「働き方改革」への取組

代表理事組合長
佐藤 則明

国は「1億総活躍社会」実現に向けた取り組みとして「働き方改革」を進めています。背景には労働力人口が想定以上に減少していることを挙げています。

このような中でも経済を持続的に発展させる必要があります。働く人一人一人の生産性を高めていくこと、働きたいと希望する人全てが活躍できる社会です。しかし働く現場では様々な問題があります。これを見直していこうという事が「働き方改革」と理解しています。栗駒高原森林組合での取組みは次のとおりです。

労働力の確保として、現場技能者は緑の雇用で積極的に採用します。離職率を減らし在籍率のアップを目指し、3年間の研修期間のうち林業に必要な各種の資格取得を支援する。各種社会保険には全員加入、労働時間は1日6・5時間で6日間39時間を厳守し、安全と健康に配慮する。

この効果もあつて70%の定着率(全国平均46%)を確保、平均年齢は48歳と働き盛りです。60歳定年ですが、希望者全員を65歳まで再雇用することにし、本人の経済活動の支援と、組合にとつては経験豊富な方の活躍で事業の安定が保たれています。

一方職員は、18名で平均年齢38歳です。事業に対して現在は適正人員ですが、計画的な採用に配慮していきます。若い職員が多いので今後の伸び代に期待します。

現場技能者は残業ほぼゼロですが、職員の残業が懸念される時があります。作業前の測量から許可申請時、検査前の資料整理、月締め決算期等業務が重なった場合は時間外労働となります。対策を職員会議で検討し、長期及び1週間程度の工程を出し合い、期間によっては担当以外でも全員が協力することで「乗りきる」ことを確認しました。このことよつて一人一人の負担が解消されつつあります。経験年数10年未満の職員が6割と経験の浅いことから、知識、技能不足はありますが、チームワークで乗りきろうと現在進行形です。

働きがいのある職場、夢を持てる職場、楽しい職場、組合員から信頼される職場にするため、役職員が力を合せています。組合員皆様が立ち寄りやすい栗駒高原森林組合を目指しています。

全国森林組合代表者大会

平成29年10月30日(月)／東京 砂防会館

去る10月30日東京砂防会館を会場に、全国森林組合代表者大会が開催されました。

今大会では、「森林吸収源対策等に必要安定財源の確保のため森林環境税の早期実現・林業施策の推進に必要な平成三十年度予算の確保・林業の成長産業化の実現による組合員の所得向上・主伐再造林の拡大を通じた森林資源の循環利用推進・緑の雇用事業森林施業プランナー育成対策事業による人材の確保育成・日欧EPA等国内林業対策の強化・森林林業山村未来創造運動の着実な実行」以上7項目を決議し大会を終了しました。

尚、大会開催前に県内組合等代表者により林野庁長官、県選出国会議員に表敬訪問し、「林業の成長産業化及び森林環境税の実現に関する要望書」を提出してまいりました。



平成29年文化の日表彰 産業功労賞受賞

10月31日に仙台市東京エレクトロンホール宮城において、宮城県文化の日表彰式が行われ、当組合理事の岩崎正樹氏が多年に亘り団体の役員として事業の推進に努め、地域林業の振興に寄与された功績が認められ、産業功労賞を受賞されました。

岩崎理事は平成8年3月より現在に至るまで森林組合理事として永年に亘り在職(21年8ヶ月)し、組合事業及び子会社の指導に精励し地域の森林造成、森林整備事業の推進と緑化推進に尽力され受賞となりました。おめでとうございます。



宮城北部流域森林・林業活性化センター栗原支部『活性化協議会視察研修』

平成29年11月20日(月)／気仙沼地域エネルギー開発株式会社

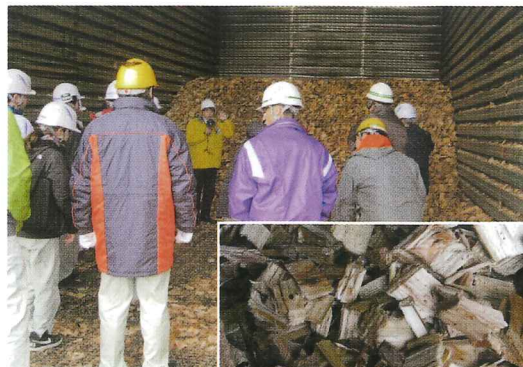
宮城北部流域森林・林業活性化センター栗原支部活性化協議会視察研修が11月20日(月)、気仙沼市の気仙沼地域エネルギー開発株式会社で開催されました。

気仙沼地域エネルギー開発株式会社は、気仙沼市の70%を占める森林を活用し、地域から集められる間伐材を仕入れ、チップをガス化にして800キロワットを発電する木質バイオマスエネルギー事業に取り組む会社で、平成28年に総事業費約20億円でリアスの森 バイオマスパワープラントが完成しました。地域のエネルギーを地域で活用することで、循環型持続型社会を「地域」から作っていく仕組みを提供しています。

会社を設立したのは平成24年。エネルギー供給が途絶えた東日本大震災を経験し、一極集中の供給体制から脱却する必要性を痛感。震災後に始まった再生可能エネルギーの固定買い取り制度(FIT)に基づいて発電し、バイオマス施設で発生した熱は、近隣のホテル2軒に供給し循環型社会の形成に取り組んでいます。

木質バイオマスの燃料となる間伐材の買取価格は1トン6,000円で、林業者により多くの出荷を促すため相場の2倍にしています。代金の半分は現金、残り半分は同社が発行する地域通貨「リネリア」で支払い、エネルギーの地産地消に加え、お金が地域内で回ることが狙いでした。リネリアを本格的に導入したのは平成25年4月。市内の飲食店や食料品店など約160店で使え、平成28年度までに累計約1,400万円分が発行されました。

地域の間伐材を利用した木質バイオマスエネルギー事業。山から始まる地域循環型社会で自伐型林業にも積極的に取り組んでいます。



木質チップ

全国森林組合職員連盟全国研究集会

平成29年全国森林組合職員連盟全国研究集会が9月1日、京都府京都市ルビノ京都堀川で開催されました。

今年度のテーマは「森林組合の次代を担う人材の育成・活躍」で基調講演、事例発表、特別講演が行われました。基調講演では京都府立林業大学校の只木良也校長より「京都府立林業大学校～次代の人材育成を目指して～」と題して講演を頂き、系統代表者による事例発表では、京都府園部町森林組合 渋谷菜津子技師の「プランナー業務について」、長野県根羽村森林組合 杉山紘子技能職員の「林業の現場にて女性が山で働くということ」の発表があり、特に杉山技能職員は、男性同様山に入り全ての現場作業に携わり奮闘していました。

最後に2017年度ミス日本みどりの女神、野中 葵さんによる「みどりは私の父母～ミス日本みどりの女神の活動を通じて～」の特別講演で全国研究集会に花を添えました。



◆ 第30回優良みやぎ材展示即売会 ◆

平成29年11月9日(木) / 宮城県森林組合連合会 大衡総合センター

即売会に先立ち記念式典が行われ、主催の宮城県森林組合連合会長挨拶・来賓の宮城県農林水産部長、東北森林管理局長の祝辞の後、出品材の入賞者の表彰があった。出品点数は「単木の部」13点、「極積の部」10点の計23点で樹種はスギ、例年より少ない出品となった。

審査は「節や割れ、トビ腐れの有無」「年輪」「完満度」「光沢・色彩」などの材質や「採材」などの造材技術、「キズ」「汚れ」などの生産技術について、審査基準に従い実施された。

尚、当日の出品量は2,113 m³、販売量1,724 m³、販売率81%、平均価格14,032円でした。



樹木の豆知識シリーズ②③

「ミズキ」ってなあに?

◎「ミズキ」ってどんな木?

「ミズキ」はミズキ科の落葉高木。北海道から九州まで広く分布し、高さ10~15mになる。枝を扇状に広げ階段状の独特な樹形になる。樹皮は緑灰色、5月から6月頃に白い小さな花が集まって木全体に雪が積もったように咲く。

◎名前の由来

根の給水作用が強く樹液が多い為、春先に枝を切ると水が滴り落ちることから「ミズキ」と呼ばれる。

◎用途

暑さ寒さに強く、公園などの緑陰樹や街路樹として植栽される。

食器、箸、こけしの材料等幅広く、鳴子のこけしは有名。



▲ミズキ (円内)ミズキの実

= 木材市況 [10月] =

価格：1m³当たりの単価

	樹種	材長	径級	高値	中値	安値	比	備考
東和	スギ	3.00	14~18	10,080	8,000	2,880	△	市日 24日
			10~13直曲	10,080	8,500	2,880	△	出品量 55m ³
		4.00	14~18	10,080	8,500	5,000	△	販売量 55m ³
			20~28	10,800	9,000	8,500	△	販売率 100%
			30上	10,800	9,000	8,500	△	販売額 505千円
		1.95	16上	7,200	6,120	2,880	—	平均額 9,182円
大衡	スギ	3.00	14~18	10,080	9,000	2,880	△	市日 11日
			10~13直曲	10,000	7,500	2,880	△	出品量 306m ³
		4.00	14~18	10,000	7,500	5,000	△	販売量 186m ³
			20~28	10,800	9,000	8,500	△	販売率 60%
			30上	11,500	9,500	8,500	△	販売額 1,714千円
		2.00	16上	7,200	6,120	2,880	—	平均額 9,215円

《△：上げ ー：保合 ▽：下げ》※安値は曲材の価格です。

概況：天候不順の影響から全センターとも入荷が少なく、ニヶ所のセンターで市の開催を中止した。市の開催が出来たセンターの入荷材はほぼ新材となってきた。材不足の影響と在庫確保の為の仕入れに入ってきたこともあり価格は全てが値上がり傾向となってきた。今後暫くは値上がり傾向での動きになると思われる。

くりはら苔栽培講習会

平成29年10月23日・24日

「庭や山に生える苔が地域産業の商品化になれば」ということで、宮城県栗原地域事務所主催の栽培講習会が、10月23日・24日両日栗駒文字地区で開催されました。

講習会には、日本苔技術協会代表の北川義一氏を講師として招き、地区住民や関係機関から30人程が参加しました。

1日目は愛藍人文字でフィールドワークを行い、苔の観察や採取方法を学びました。その後、採取した「エゾスナゴケ」、北川講師が持参した「ウマスギゴケ」「ホソバオキナゴケ」の種まき実習を体験しました。採取した苔を乾燥、破碎し苔の全てを「種」として活用することが出来るそうで初めての体験で大変驚きました。2日目はセンター中山で苔の生態や圃場づくり、栽培管理方法などの講義が行われました。

苔は市場流通している種類や数量も少なく、見向きもしなかった苔が産業として成り立つか今後が期待されます。



係より

組合員の
みなさんへ



相続加入手続きについて

組合員が死亡した場合、届出が必要になります。相続加入手続きをお願いいたします。

承継加入手続きについて

組合員が後継者に山林を贈与した場合、届出が必要になります。

住所変更について

組合員が住所を変更した場合、届出が必要になります。

◎詳細については、総務課にお問い合わせ下さい。

☎0228-45-3311

